

各 位

東京都渋谷区桜丘町 20 番 1 号
株式会社 アミューズ
代表取締役社長 畠中 達郎
東証第 1 部 (コード番号: 4301)



日本初! 5/16 (日) 三社祭最終日の模様を 17 時間にわたり生放送 浅草・三社祭を BS11 デジタルにて 3D・テレビ生中継

総合エンターテインメント事業を展開する株式会社アミューズの子会社で、アクティブシニア層の知的好奇心や教養欲を刺激するエデュテインメント(エデュケーション+エンターテインメント)関連事業を手がける株式会社アミューズ エデュテインメントでは、5月16日(日曜日)の午前5時より午後10時までの17時間にわたり「3D中継初挑戦!!『浅草・三社祭 17 時間生テレビ』」(仮題)を企画・制作し、浅草・アミューズ ミュージアムを拠点に無料の BS デジタル放送局・BS11 で生放送いたします。

新しいメディア・テクノロジーとして注目を集めている 3D 映像。この番組では、3D・テレビ生中継に挑戦します。

三社祭の三社とは、628 年に隅田川で漁の途中に仏像を発見した、檜前浜成(ひのくまのはまなり)・竹成(たけなり)の兄弟と、それを拝し、聖観世音菩薩の尊像であることを知り、自ら出家した後に自宅を寺に改め(=浅草寺の起源)深く帰依した土師真中知(はじのまつち)の 3 人を指し、後の世に三社大権現と称して浅草寺の傍らに神様として祀られました。三社祭は、この 3 人を浅草の開拓者として敬い崇める浅草神社の祭礼です。五月中旬の 3 日間、下町・浅草を埋め尽くす人の数は実に 150 万人を数えます。「ワッショイ・ワッショイ」「ソイヤ、ソイヤ」のかけ声と共に、神輿が荒々しく練り歩く、壮絶無比の勇ましさ。それは、まさしく祭りが人々の地元への愛着から生まれ出てくることを示す“絆”の証です。そのクライマックス、浅草神社本社神輿の「宮出し」から「宮入り」までの 17 時間を生放送で余す所なく伝えようこの番組を企画いたしました。

浅草神社、三社祭を運営する浅草神社奉賛会、浅草寺など関係各所の協力のもと、三社祭3日間の神事や、氏子 44 ヶ町を渡御する神輿の模様を中継します。

番組では、従来の 2D 通常放送に加えて、要所要所で臨場感あふれる 3D 中継をする他、専門家による 3D 解説コーナーを設け、各種 3D 映像素材を放送いたします。現在、特別協賛のパナソニック株式会社の協力を得て、3D 映像素材を鋭意制作中です。

なお、浅草・アミューズミュージアム内に、パナソニック 3D テレビ「ビエラ」を設置して、出演者だけでなく、来場者にも実際に 3D 生放送をその場で体感していただき、その驚きや感動の模様を番組内で紹介します。

日本初の 3D・テレビ生中継となるこの番組にご期待ください。

< 番組概要 >

企画・制作: 株式会社アミューズ エデュテインメント

協力: 株式会社アミューズ

放送局: BS11 デジタル(日本 BS 放送株式会社)

特別協賛: パナソニック株式会社

協賛: 各社

特別協力: 浅草神社、浅草神社奉賛会、浅草寺

タイトル:「3D中継初挑戦!!『浅草・三社祭 17 時間生テレビ』」(仮題)

放送日時:三社祭最終日 2010年5月16日(日) 午前5時～午後10時

放送形式:浅草「アミューズ ミュージアム」を拠点に生放送
(2D・3D映像・FOMAによる各地からの中継・事前収録VTR含む)

番組形式:三社祭を縦軸に日本の祭りをテーマとしたカルチャー性の高いバラエティー番組

以上

【 株式会社 アミューズ エデュテインメント 会社概要 】

代 表 者 : 代表取締役社長 大里 洋吉
所 在 地 : 東京都台東区浅草2丁目34番3号
主な事業内容 : 音楽、映画、演劇、演芸、講演の企画制作ならびにその請負と興行、ミュージアム・文化施設の運営等
設 立 年 月 日 : 2009年7月1日
資 本 構 成 : 株式会社アミューズ(100%)

【 アミューズ ミュージアム 施設概要 】

布文化と浮世絵の美術館 アミューズ ミュージアム (東京都台東区浅草2-34-3 浅草寺本堂東側、「二天門」に隣接)

2009年11月1日、東京・浅草にオープン。

「もったいない」と「ライブ感」をコンセプトに、江戸時代から昭和初期にかけて作られ、使われた、民俗学者・田中忠三郎氏の貴重な衣類や民具のコレクション、重要有形民俗文化財「津軽・南部の刺し子着」や究極のテキスタイル・アート「BORO」を展示。また、世界で最も美しいと言われるボストン美術館収蔵の幻の浮世絵「スポルディング・コレクション」のデジタル映像シアターや、デジタルプリントを多数展示する。展示物には直接手で触れる事が出来たり、五感で感じる事の出来るミュージアムを展開。

館内では、ミュージアムの看板娘「チーム織り姫」による、200年前の織り機を使っての機織りの実演や、津軽手踊りなどのパフォーマンスも行なわれ、2か所のライブスペースでは、浮世絵の講演、三味線や伝統芸能のライブなど、様々なイベントがほぼ毎日のように開催される。

更に1Fにはミュージアム・カフェ、5F・6Fにはライトアップされた浅草寺や、五重塔が間近に見下ろせる洒落たテラスも備えるシックなバーも併設。ミュージアムという文化施設の常識を覆し、知的好奇心をくすぐる洒落た複合アート施設。

一般問合せ先:TEL 03-5806-1181、ホームページ <http://www.amusemuseum.com>

株式会社アミューズ グループ経営企画部 広報・IR 室

<<<この件に関するマスコミの皆様からのお問い合わせ先>>>

TEL:03-5457-3358

<<<この件に関する投資家・株主の皆様からのお問い合わせ先>>>

TEL:03-5457-3390 (土・日・祝祭日を除く午前11時より午後5時まで)